

# CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレイドル塚口新築工事	階数	地上9F
建設地	兵庫県尼崎市上坂部一丁目211番2	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	326 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,480 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 竣工	評価の実施日	2023年7月10日
敷地面積	2,759 m <sup>2</sup>	作成者	木田
建築面積	953 m <sup>2</sup>	確認日	2023年7月25日
延床面積	6,486 m <sup>2</sup>	確認者	中本



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 105%

③上記+②以外の 105%

④上記+ 105%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項	
総合	熱負荷や温熱環境低減に向けて、住宅性能評価基準による省エネルギー等級4としている。
その他	耐久性に優れた建物を計画する。
Q1 室内環境	遮音に関してT-2等級以上のサッシ及び複層ガラスを用い、またサッシの多くを掃き出しとして自然採光、換気が可能として室内環境に配慮した。
Q2 サービス性能	耐久性設備機器を採用し、またメンテナンス及び更新性にも配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	緑地帯を可能な限り配置して舗装面をできるだけ少なくすることにより、地表からの放射熱の軽減・雨水排水の地下への浸透を図る計画とした。
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4とした。
LR2 資源・マテリアル	高効率機器を採用し、消費電力量に配慮した。
LR3 敷地外環境	温熱環境悪化の軽減として、建物周囲に緑地を設ける等配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される